

2026年2月20日

各位

会社名 M e d i c i N o v a , I n c

代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岩城 裕一
 (コード番号：4875 東証スタンダード)
 (ティッカーシンボル：MNOV NASDAQ グローバル)

問合せ先 東京事務所代表 副社長 松田 和子
 兼最高医学責任者 (CMO)

電話：03-3519-5010

E-Mail : infojapan@medicinova.com

連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

2026年2月20日 米国 ラ・ホイヤ発・メディシノバ（MediciNova, Inc.）（米国カリフォルニア州 ラ・ホイヤ、代表取締役社長兼 CEO：岩城裕一）（以下「当社」といいます。）は、本日付「2025年12月期 決算短信〔米国基準〕（連結）」で公表した2025年12月期（2025年1月1日～2025年12月31日）の連結業績につきまして、前期実績値（2024年12月期（2024年1月1日～2024年12月31日））との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社は当該期間に係る業績予想を公表していないため、増減につきましては実績値との比較になっております。

記

1. 2025 年 12 月期通期連結業績の前期実績との差異

(単位：1株当たり金額を除き千円ドル（百万円）)

	売上高	営業利益	税引前 当期純利益	当社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり当社 株主に帰属する 当期純利益 (米ドル (円))
前期実績値 (A) (2024 年 12 月期)	0 (0)	△12,675 (△1,947)	△11,044 (△1,697)	△11,049 (△1,697)	△0.23 (△35)
当期実績値 (B) (2025 年 12 月期)	409 (62)	△13,283 (△2,041)	△11,991 (△1,842)	△11,997 (△1,843)	△0.24 (△36)
増減額 (B－A)	409 (62)	△607 (△93)	△947 (△145)	△948 (△145)	
増減率 (%)	—	—	—	—	

(注) 当社の連結業績予想は米ドルで行っています。カッコ内に表示されている金額は、便宜上、2026年1月30日現在の三菱UFJ銀行の対顧客電信直物相場の仲値に基づき、1米ドル=153.66円で換算された金額です。また記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 差異の理由

2025 年 12 月期の売上高は、前期実績と比較し、409 千米ドル（約 62 百万円）の増収となりました。

た。

前期は計上すべき売上高がなかったのに対し、当期は、米国国立衛生研究所（NIH）からの資金提供による MN-166（イブジラスト）の筋萎縮性側索硬化症（ALS）を対象とする拡大アクセスプロトコル臨床試験（**参照 1**/**参照 2**）が開始したことに伴い、当該臨床試験を主導するメイヨー医学教育研究財団との契約に基づくサービス提供による収益 409 千ドル（約 62 百万円）を計上するに至りました。

2025 年 12 月期の営業利益、税引前当期純利益ならびに当社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記のとおり収益を計上いたしましたが、一般管理費の増加及び受取利息が減少したこと等の影響により、営業利益は 607 千ドル（約 93 百万円）、税引前当期純利益は 947 千ドル（約 145 百万円）、当社株主に帰属する当期純利益は 948 千ドル（約 145 百万円）、それぞれ前期実績値を下回る結果となりました。

（参照 1） 2024 年 9 月 30 日公表

「米国国立衛生研究所（NIH）からの資金提供による MN-166（イブジラスト）の筋萎縮性側索硬化症（ALS）を対象とする Expand Accsee Protocol（拡大アクセスプロトコル）臨床試験に関するお知らせ ～NIH が総額 2,200 万ドルの治験費用を提供～」

<https://medicinova.jp/wp-content/uploads/2024/09/09302024.pdf>

（参照 2） 2025 年 4 月 9 日公表

「米国国立衛生研究所（NIH）からの資金提供による MN-166（イブジラスト）の筋萎縮性側索硬化症（ALS）を対象とする Expand Access Protocol（拡大アクセスプロトコル）臨床試験における第一例目の患者登録に関するお知らせ」

<https://medicinova.jp/wp-content/uploads/2025/04/04092025.pdf>

以 上

メディシノバについて

メディシノバ（MediciNova, Inc.）は、米国を拠点とする臨床開発ステージにあるバイオ医薬品開発企業です。炎症性疾患、神経変性疾患、癌などの様々な疾患領域において、開発後期ステージの広範なパイプラインを開発しています。

主要な開発品である 2 つの化合物、MN-166（イブジラスト）と MN-001（タイベルカスト）は複数の作用機序を持つ低分子化合物です。動物モデルスタディで様々な効果が確認されているほか、これまでの臨床経験において高い安全性プロファイルを有しています。

MN-166（イブジラスト）は、現在、筋萎縮性側索硬化症（ALS）、変性脊椎頸椎症（DCM）で臨床第Ⅲ相（フェーズ 3）段階の治験が進められています。他にも膠芽腫（グリオブラストーマ）及び嗜好品依存症の治療薬候補品として臨床第Ⅱ相（フェーズ 2）段階にあります。

MN-001（タイベルカスト）は、糖尿病による脂質異常症・非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）を対象に、臨床第Ⅱ相（フェーズ 2）段階の治験が進められています。

当社は、欧米政府や公的機関からの研究資金助成を受け、多くの医師主導型臨床試験を実施してきた強固な実績を有しています。

当社詳細につきましては <https://medicinova.jp/> をご覧ください。本社所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州ラ・ホイヤ、スイート 300、エグゼクティブ・スクエア 4275（電話 1-858-373-1500）です。

注意事項

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法（The Private Securities Litigation Reform Act of 1995）に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、MN-166、MN-001、MN-221 及び MN-029 の治療法の将来における開発や効果に関する記述などが含まれます。これらの「将来の見通しに関する記述」には、そこに記述され、示されたものとは大きく違う結果または事象に導く多数のリスクまたは不確定要素が含まれます。かかる要素としては、MN-166、MN-001、MN-221、または MN-029 を開

発するための提携先または助成金を得る可能性、当社の事業または臨床開発を行うために十分な資金を調達する可能性、将来の臨床治験のタイミング、費用、計画など、臨床治験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素、FDA に対して書類を提出するタイミング、臨床開発及び商品化のリスク、現段階の臨床治験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではない可能性、当局の承認取得の遅延または失敗の可能性、臨床治験の資金を第三者機関に頼ることによるリスク、商品候補に対する知的財産権に関するリスク及びかかる権利の防御・執行能力に関するリスク、製品候補の臨床治験または製造を依頼している第三者機関が当社の期待通りに履行できない可能性、さらに臨床治験の開始、患者登録、完了または解析、臨床治験計画の妥当性または実施に関連する重大な問題、規制当局への書類提出のタイミング、第三者機関との提携またはタイムリーな資金調達の可否などに起因する遅延及び費用増大に加え、当社が米国証券取引委員会に提出した 2025 年 12 月期の Form10K 及びその後の 10Q、8K など届出書に記載されているものも含め、しかしそれに限定されないその他のリスクや不確定要素があります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。